

小児・AYA世代のがん患者等の 妊孕性温存療法を学ぼう

参加費：無料



目的

小児・AYA世代におけるがんはその進行が大変早いことが知られております。がん診断からその治療に入るまでは時間は大変わずかとなります。その短い時間の中で、いくつもの選択を問われますが、その中に妊孕性温存の判断が含まれます。妊孕性温存に関する知識を広く知っていただくことは、妊孕性温存療法の決断の一助となると考えております。

●開催日時：**8.29**日 13:00 ~ 14:45
令和3年

●参加方法：
WEBセミナー (Zoom)

参加申し込み締め切り
令和3年8月22日(日)

- | | |
|-------------|---|
| 13:00~13:05 | [開会挨拶] 矢野 聖二 (金沢大学附属病院 副院長・がんセンター長) |
| 13:05~13:20 | 1 「石川県における妊孕性温存ネットワークと治療費助成について」
相川 広一 (石川県健康福祉部健康推進課 次長兼課長) |
| 13:20~13:40 | 2 「女性のがん治療と将来の妊娠について」
水本 泰成 (金沢大学附属病院 産科婦人科 講師) |
| 13:40~14:00 | 3 「男性のがん治療と生殖機能への影響」
飯島 将司 (金沢大学附属病院 泌尿器科 助教) |
| 14:00~14:20 | 4 「妊孕性温存療法の実際」
上林 大岳 (金沢たまごクリニック 副院長) |
| 14:20~14:40 | 総合討論 |
| 14:40~14:45 | [閉会挨拶] 矢野 聖二 (金沢大学附属病院 副院長・がんセンター長) |

小児・AYA 世代のがん患者等の 妊孕性温存療法を学ぼう

妊孕性

妊娠するために必要な能力のことですが、妊娠するために必要な臓器と機能と言い換えることができます。妊娠するために必要な臓器として、女性では子宮や卵巣が、男性では精巣が挙げられます。

妊孕性温存

手術をはじめ、抗がん剤や放射線治療などの“がん治療”によって妊孕性がダメージを受けることが知られています。婦人科分野では古典的には子宮や卵巣を温存するための手術方法（子宮頸部円錐切除術や子宮筋腫核出術、卵巣嚢腫切除術など）がありますが、近年の生殖医療や凍結技術の発達により、配偶子や受精卵（胚）を凍結することが可能となっています。未婚の女性のための妊孕性温存の方法として未受精卵凍結（いわゆる卵子凍結）が、既婚のパートナーがいる女性のために受精卵凍結（いわゆる胚凍結）があり、これらはすでに「確立された治療法」として認められています。

AYA世代

AYA（アヤと読みます）世代とは、Adolescent&Young Adult（思春期・若年成人）のことをいい、15歳から39歳の患者さんがあてはまります。

第23回 石川県がん診療連携協議会 県民公開講座の申込について

今回は Zoom によるオンライン開催になります。下記のサイトより、氏名・職種・アドレスを入力してお申込ください。
申込後、自動受付返信メールにて当日の会場入室する URL を掲載しておりますので、破棄しないようお願い申し上げます。

申し込み方法

<https://gakkai-gran.jp/seminar/entry.html>



●事前準備 スムーズなミーティング進行のため、下記の事前準備にご協力ください。

1 Zoom のシステム要件を満たす環境をご準備ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

※有線でのインターネット接続を推奨しております。

2 OS・ブラウザが最新の状態を保っていることを必ず確認してください。

※ご利用中のシステムに関するお問合せは、システム提供元へお願いいたします。

※OS・ブラウザが最新の状態でないことに起因するトラブルについては対応いたしかねます。

3 参加に使用する端末に「ミーティング用 Zoom クライアント」の最新バージョンをダウンロード・インストールしてください。

ダウンロードページ ▼

https://zoom.us/download#client_4meeting

※既にインストール済みの場合、最新バージョンがインストールされていることを確認してください。最新バージョンではない場合、必ずアップデートしてください。

アップデート方法 ▼

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362233>

※アップデートを行うことで不具合が修正されることがあります。必ず、アップデートを実行してください。

お問
い合
わせ

金沢大学附属病院 医療支援課
TEL(076) 265-2033

石川県がん診療連携拠点病院ホームページ
<http://cancer-center.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

